

金城大短大生が  
観光コースづくり

### 小松の公共交通活用

金城大短大部ビジネス実務学科の学生でつくる地域間交流研究会の2年生5人は16日、小松市を訪れ、市内の公共交通を活用した観光コースづくりを始めた。観光資源の掘り起こしやモデルコースの実証実験などを重ね、来年1月にも、若いカップルや外国人をターゲットにした市内全域を巡るコースを作成する。

メンバーは、日本遺産「小松の石文化」のスポットの一つである滝ヶ原町で石切り場やアーチ石橋群を見学し、開創1300年を迎えた名所的那谷寺を訪れた。写真。「恋人の聖地」に選定されている粟津温泉では足湯を楽しんだ。

17日は、市職員が考案し

た、路線バスやコミュニケーションバスで移動する5コースをメンバーが巡る。

メンバーの榎本咲希さん(19)「小松市出身」は「多くの人に小松の魅力を知ってほしい」と話し、台湾・台北市からの留学生陳雪芳さん(22)は「小松空港の台北便で小松へ観光に来てもらえるようにしたい」と語った。活動は今年度の大学コンソーシアム石川の地域貢献型学生プロジェクト推進事業に採択されている。

